



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 リズム時計工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7769 URL <http://www.rhythm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠間 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 奥田 伸一郎 TEL 048-643-7213

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	24,127	△1.4	433	△74.2	820	△57.0	568	△59.0
25年3月期第3四半期	24,475	18.2	1,681	91.0	1,909	82.8	1,386	248.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,466百万円 (67.2%) 25年3月期第3四半期 1,475百万円 (617.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	4.92	—
25年3月期第3四半期	11.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	46,794	34,051	72.8	294.52
25年3月期	39,368	31,933	81.1	276.15

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 34,049百万円 25年3月期 31,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	4.8	700	△60.9	1,150	△43.9	800	△44.5	6.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) PT UMEDA KOGYO INDONESIA 、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	132,178,939 株	25年3月期	132,178,939 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	16,561,863 株	25年3月期	16,543,474 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	115,629,273 株	25年3月期3Q	120,278,081 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は同日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の経済は回復基調が継続しているものの個人消費は精彩を欠き、欧州経済も回復の兆しが見られますが本格回復に至ってはおりません。中国では経済成長の減速から持ち直しの動きが見られますが、新興国では現地通貨の下落などから経済成長に鈍化の傾向が見られます。我が国経済は、経済政策や金融政策効果により円安と株価上昇が進み、緩やかではありますが回復してきております。

このような状況のもと、当社グループは、収益基盤の強化とともに売上高の拡大に取り組んでおります。時計事業は、海外における売上は増加しましたが、国内では防災行政ラジオの売上が減少し、前年同期に比べ円安による原価率の悪化などにより、事業全体では減収減益となりました。電子事業は、情報機器、車載機器の受注が低調であったため減収減益となり、プレジジョン事業も、受注の減少により減収となりました。接続端子事業は、太陽光パネルなど次世代エネルギー分野のパワコンの部品の受注が好調に推移し、増収増益となりました。

以上のことから、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、241億27百万円となり前年同期244億75百万円に対し1.4%減収となりました。営業利益は、4億33百万円となり前年同期16億81百万円に対し74.2%の減益となりました。経常利益は8億20百万円となり前年同期19億9百万円に対し57.0%の減益となりました。これらに固定資産売却益や税金費用等を計上した結果、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は5億68百万円となり前年同期13億86百万円に対し59.0%の減益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

①時計事業

時計事業におきましては、国内販売のクロックは7月に発売した大音量めざまし時計や業界初の3D電波時計「くまモン」が好評を得ておりますが、販売単価の下落をカバーするには至りませんでした。非クロック分野は、前期より発売しておりますUSBファンに新たなラインナップを加えたことなどにより好調に推移しましたが、防災行政ラジオの受注減少をカバーするには至りませんでした。海外においては売上が増加しましたが、国内販売の減少分をカバーできず時計事業全体では減収となりました。利益の面におきましては、継続して収益改善に取り組んでおりますが、主として円安の影響により減益となりました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は99億35百万円となり前年同期101億21百万円に対し1.8%の減収となりました。営業利益は4億30百万円となり、前年同期13億79百万円に対し68.8%の減益となりました。

②電子事業

電子事業におきましては、新たな取引先の開拓をプレジジョン事業や接続端子事業と合同で行っているほか、グループの技術を活かした商品開発や顧客企業への提案等を積極的に行ない、業容の拡大に努めて参りましたが、情報機器分野、車載機器分野とも受注の減少により減収となりました。

利益の面におきましては、合理化に努めて参りましたが、受注減による操業度の低下、原価率の悪化等により営業損失となりました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は48億88百万円となり前年同期56億79百万円に対し13.9%の減収となりました。前年同期2億13百万円の営業利益に対し、当期は2億64百万円の損失となりました。

③プレジジョン事業

プレジジョン事業におきましては、国内外での新販路開拓に努めておりますが、前期以降光学関連部品の受注が減少し、当期まで回復することができず、減収となりました。利益の面におきましては、受注の減少に伴い固定費の圧縮や合理化に努めましたが損失となりました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は38億92百万円となり、前年同期44億9百万円に対し11.7%の減収となりました。営業損益は、前年同期53百万円の損失に対し、当期は13百万円の営業損失となりました。

④接続端子事業

第2四半期連結会計期間におきましてPT UMEDA KOGYO INDONESIAを連結の範囲に含めたことに伴い、接続端子事業に加えております。みなし取得日は平成25年6月30日としておりますが、同社は12月決算のため、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

接続端子事業におきましては、ベトナムでの二輪車向け部品が前年に比べ減少しましたが、国内、海外とも、次世代エネルギー分野のパワコンの部品の受注が増加し、さらに国内では自動車の電装部品や家電向け部品の受注も好調に推移し、増収となりました。また、PT UMEDA KOGYO INDONESIAの損益計算書を連結したことによる上積みも寄与しております。

利益の面におきましては、増収効果や合理化等により、営業利益は増益となりました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は48億21百万円となり前年同期36億84百万円に対し30.9%増収となりました。営業利益は4億69百万円となり前年同期2億79百万円に対し68.0%の増益となりました。

⑤その他

物流事業、介護事業等その他の事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は5億88百万円となり前年同期5億81百万円に対し1.2%の増収となりました。営業利益は53百万円となり前年同期68百万円に対し21.8%の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は467億94百万円となり、前連結会計年度末393億68百万円に比べ74億26百万円増加しました。流動資産は、たな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ23億54百万円増加しました。固定資産は有形固定資産やのれんの増加などにより、前連結会計年度に比べ50億72百万円増加しました。

(負債)

負債合計は127億43百万円となり、前連結会計年度末74億35百万円に比べ53億8百万円増加しました。流動負債は、支払手形及び買掛金等の増加により、前連結会計年度末に比べ27億33百万円増加しました。固定負債は、長期借入金等の増加により、前連結会計年度末に比べ25億75百万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は340億51百万円となりました。前連結会計年度末に比べ、その他の包括利益累計額の増加などにより、21億18百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日(平成26年2月7日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、PT UMEDA KOGYO INDONESIAの株式を取得したため、同社を連結子会社としております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,398	7,972
受取手形及び売掛金	7,538	7,960
有価証券	2,000	2,000
たな卸資産	6,750	7,880
その他	906	1,135
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	24,592	26,946
固定資産		
有形固定資産	5,501	7,491
無形固定資産		
のれん	1,465	2,665
その他	1,277	1,475
無形固定資産合計	2,743	4,140
投資その他の資産		
投資有価証券	4,881	6,573
その他	1,771	1,778
貸倒引当金	△122	△135
投資その他の資産合計	6,530	8,216
固定資産合計	14,775	19,848
資産合計	39,368	46,794
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,245	4,817
1年内返済予定の長期借入金	—	1,097
未払法人税等	609	185
賞与引当金	173	145
役員賞与引当金	21	—
その他	1,944	2,480
流動負債合計	5,994	8,727
固定負債		
退職給付引当金	564	599
長期借入金	—	2,150
その他	876	1,267
固定負債合計	1,440	4,016
負債合計	7,435	12,743

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	15,951	15,951
利益剰余金	5,049	5,271
自己株式	△2,503	△2,505
株主資本合計	30,870	31,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	886	2,242
為替換算調整勘定	176	718
その他の包括利益累計額合計	1,063	2,960
少数株主持分	—	1
純資産合計	31,933	34,051
負債純資産合計	39,368	46,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	24,475	24,127
売上原価	17,340	18,076
売上総利益	7,135	6,050
販売費及び一般管理費	5,453	5,617
営業利益	1,681	433
営業外収益		
受取利息	15	9
受取配当金	109	118
受取賃貸料	160	164
信託収入	139	139
為替差益	—	76
その他	47	57
営業外収益合計	473	565
営業外費用		
支払利息	12	26
出向費用	14	15
賃貸費用	73	64
信託費用	70	43
為替差損	24	—
その他	50	29
営業外費用合計	245	178
経常利益	1,909	820
特別利益		
固定資産売却益	172	185
受取補償金	177	—
その他	6	—
特別利益合計	356	185
特別損失		
固定資産処分損	23	9
固定資産売却損	—	5
投資有価証券評価損	45	—
関係会社清算損	39	—
その他	17	—
特別損失合計	126	14
税金等調整前四半期純利益	2,138	991
法人税、住民税及び事業税	754	322
法人税等調整額	△3	100
法人税等合計	751	422
少数株主損益調整前四半期純利益	1,386	568
少数株主利益	—	0
四半期純利益	1,386	568

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,386	568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	1,355
為替換算調整勘定	122	541
その他の包括利益合計	88	1,897
四半期包括利益	1,475	2,466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,475	2,466
少数株主に係る四半期包括利益	—	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	電子事業	プレジ ジョン事業	接続端子 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,121	5,679	4,409	3,684	23,894	581	24,475
セグメント間の内部売上高 又は振替高	42	13	194	—	250	815	1,065
計	10,163	5,692	4,603	3,684	24,144	1,396	25,541
セグメント利益又は損失(△)	1,379	213	△53	279	1,818	68	1,887

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,818
「その他」の区分の利益	68
セグメント間取引消去	46
全社費用(注)	△251
棚卸資産の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,681

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	合計
	時計事業	電子事業	プレジ ジョン事業	接続端子 事業 (注) 1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,935	4,888	3,892	4,821	23,538	588	24,127
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	8	98	—	124	650	774
計	9,952	4,896	3,991	4,821	23,662	1,239	24,902
セグメント利益又は損失(△)	430	△264	△13	469	622	53	675

(注) 1. 第2四半期連結会計期間において、PT UMEDA KOGYO INDONESIAの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。また、同社は「接続端子事業」セグメントに含んでおります。この影響により接続端子事業の総資産は5,483百万円増加し、セグメント利益は20百万円増加しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	622
「その他」の区分の利益	53
セグメント間取引消去	43
全社費用（注）	△261
棚卸資産の調整額	△24
四半期連結損益計算書の営業利益	433

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、当社はPT UMEDA KOGYO INDONESIAの株式を取得し、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において1,327百万円であります。なお、当該事象によるのれんの増加額は、「接続端子事業」セグメントより発生しております。